

# 若 鮎

発行所  
宇都宮短期大学附属高校  
編集委員会  
宇都宮市睦町1番35号  
印刷所  
坂本共栄社印刷所

## 11月1日に 校内展示発表会

ことしは大運動会の年に  
あたっていますので、例年

の学校祭は校内展示発表会  
として十一月一日(水)に  
行われます。期日は一日間  
ですが、来年は本校の創立  
九十周年を迎えるために  
そのリハーサルとあつて、  
各委員会、各部、各科、ク  
ラスはそれぞれ趣向をこら  
して準備を進めています。  
展示のほか、実演、即売  
などもありますので、どう  
ぞご期待ください。

## 須賀栄子で入試説明会 記念講堂



平成年代に入って初めて  
本校の入試説明会が中学  
校の校長先生や三年生の学  
年主任、進路指導の先生方  
をお迎えし、九月十二日と  
二十一日の二回にわたつて  
行われました。

今回はとくに、これまでの  
授業参観にかえ新しい試  
みとして、本校創立九十周  
年記念事業の一つとして昨  
年完成した須賀栄子記念講  
堂大ホールで普通科、生活  
教養科、情報商業科、調理  
科、音楽科の各科が日ごと  
の学習成果を発表しました。  
英語によるスピーチ、ホ  
ームプロジェクトで創作し  
たイングリッシュによるフ  
ァッションショー、読上暗算、  
見取暗算、開平開立などの  
計算事務、ソプラノの独唱  
とピアノ独奏、そして昼食  
時に調理科の皆さんによる  
日本料理を試食していただ  
いた後、お茶の時間には、  
人参や大根を使つてのかさ  
つばたやばたん作りの実演  
を見ていただきました。  
次に当日の様子をお伝え  
します。

## 「さすが私学の雄」 口々に評価の声



あいさつする須賀校長先生

十二日の校長先生方に対  
しての説明会には百四十人  
と、これまでの最高を記録  
し、各先生方の関心の深さ  
がうかがわれました。  
説明会は午前九時五十分  
から開かれ、まず本校の須  
賀校長先生が「来年は本  
校創立九十周年を迎えます  
が、一人ひとりの生徒を大  
切に特性を生かす教育」を  
モットーにしてやっています。  
これからの教育方針

で、皆さまから寄せられた  
期待にこたえていきたいと  
思いますので、こんごとも  
ご理解とご協力をお願い  
いたします」とあいさつし  
ました。  
つづいて教務部長の大島  
威二先生が各科の内容紹介  
を行ったあと、再び須賀校  
長先生から来年度の高校入  
試要項について、くわしい  
説明があり、一時間十分に  
わたつて各科の授業が披露  
されました。



身についた英語力を披露(普通科)



日ごろの成果を演奏(音楽科)

【普通科】 日本国際連合  
協会栃木県支部の国際協力  
のための主張に見事第一位  
に選ばれ、全国大会にも出  
場した和田昌道君(三年)  
が、十月月にわたるアメリ  
カ留学の思い出を、また古  
池史奈さん(二年)が国際ソ  
ロチニズム主催のユース  
フォーラムに出席して四位  
入賞を果たした。「国際理解を  
深めよう」のテーマでそれ  
ぞれ流暢な英語のスピーチ  
を行い、さらにケビン・ド  
リン先生のクエッションに  
も立派に英語で答え、身に  
ついた英語力は全部の先生  
方を魅了しました。  
つづいて、夕下智亮君  
(二年)は夏休みの課題の読  
書感想文にとり上げた「蒼  
き狼」(ジギスカンの一生)  
を堂々と発表しました。

【情報商業科】 電話によ  
る応対の実習として見積依  
頼と追加注文のやりとりを  
つづいて計算事務では江面  
強先生の指導による十四、  
十五桁の読上算、五桁の読  
上暗算や見取暗算、さらに  
十一桁の開立、暗算による  
九桁の開平など、マシンガ  
ンのようなスピードのお手  
並みには、ご覧になった先  
生方は驚かれたり、感心な  
さつたり……。

【音楽科】 中山利津子さ  
ん(三年)が沼田洋絵さん  
(三年)の伴奏でのソプラノ  
を堂々と発表しました。

独唱と渡辺克子さん(三年)  
のピアノ独奏がありました。  
このあと会場を一階の小  
ホールに移し、先生方には  
昼食に調理科生による日本  
料理を試食していただきま  
した。  
最後に出席なさつたおふ  
たりの先生から次のような  
感想をいただきました。  
栃木県中学校長会副会長  
鹿沼北中学校長 藤田剛  
先生「須賀校長先生のてい  
ねいな説明と、ゆきとど  
いた授業内容の成果を拝見  
し、心うたれることばかり  
です。一人ひとりの個性を  
伸ばす教育のすばらしさを  
見せていただき、しかも落  
ちこぼれない教育をモッ  
トーにしていることには心  
から感服いたしました。私  
学ならではの教育であると  
痛感するとともに、これに  
ふさわしいやる気のある生  
徒を私たちの中学校から一  
人でも多くおくりたいと思  
います。」

生活教養科では、高校生  
がこんな立派なものを作  
るのかと驚き、とくにウェ  
ディングドレスのすばらし  
さには目を見はりました。  
情報商業科では、開平、  
開立を始めて見ましたが、  
あの開法十段の生徒の、ま  
るで機械のようなあざやか  
さに感心しました。音楽科  
は例年楽しませていただき、  
調理科は作品を試食させて  
いただいてありますが、今  
回は楽しみながら各科の特  
色を見せていただき、改め  
て感動しております。」  
さらに、出席なさつた先  
生方へのおみやげとして、  
生活教養科の皆さんが心を  
こめて作った美しいアクセ  
サリーのバラのコサージュ  
とおいしいフルーツケーキ  
はとも喜び、多くのお  
礼状をいただきましたので、  
そのうちの二つを掲載させ  
ていただきます。  
黒羽町立川西中学校長  
渋谷英雄先生から、三年八  
組 中川淳子さんへ  
校長先生からいただいた  
記念品に中川さんの作られ  
たフルーツケーキが入つて  
おりました。私の母もみな  
さんの先輩で貴校の卒業生  
です。今生きていれば八十  
四歳ぐらいになるのですが  
……。

## 交通安全はみんなの 心とマナーから

校長 須賀 淳

「どちぎの交通マナーを  
高めよう」のスローガンの  
もとに、全県的に県民運動  
が推進されています。

私も栃木県の公安委員と  
して、交通安全について日  
ごろから心をくだいていま  
すが、県下の中学生や高校  
生の交通マナーの向上につ  
いては、ぜひ生徒の皆さん  
にお願いしたいことです。

もとに、全県的に県民運動  
が推進されています。  
私は必ずマナーやルールが  
必要です。大きくは国際社  
会の一員として、また、小  
さくは自分の家庭の一人と  
して、お互いにスムーズに  
歯車がかみ合い、楽しい幸  
せな生活を送るために、そ  
れは最小の義務であります。

交通安全はみんなの  
心とマナーから



開平開立に挑戦(情報商業科)

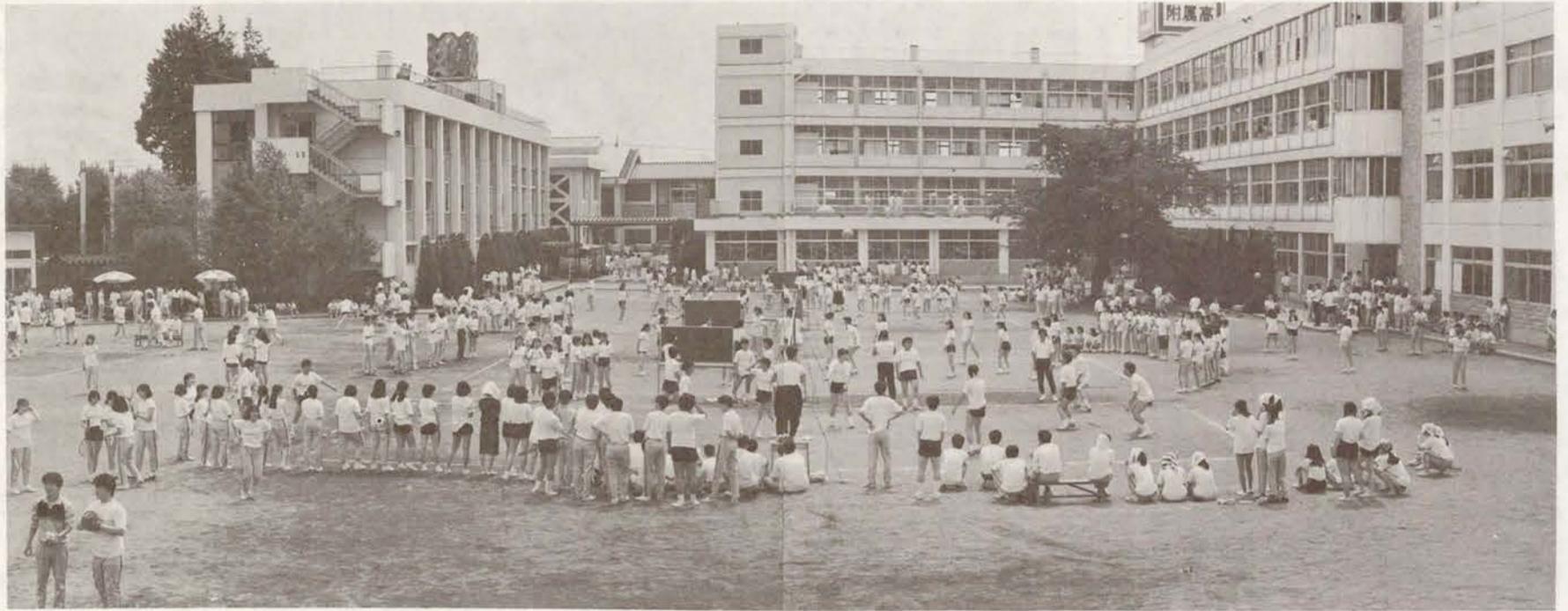


華やかなフィナーレ(生活教養科)

交通安全はみんなの  
心とマナーから

交通安全はみんなの  
心とマナーから

交通安全はみんなの  
心とマナーから



校庭に若さと若さがぶつかり合った球技大会の初日

# キラリ青春の汗と情熱

## 校内球技 水泳大会 全校生徒参加し熱戦

今年度の校内球技水泳大会は七月八日から十二日まで行われました。最終日の十二日には、前年にひきつづき好評だった県総合運動公園を使用し全校生徒が参加してテニス、サッカー、野球、バドミントンの四種目に覇を競いました。

〔バスケットボール〕  
 △男子優勝三の十二、準優勝二の十六、三位三の二  
 △女子優勝三の六、準優勝二の八、三位二の三  
 △バレーボール  
 △男子優勝三の一、準優勝三の十二、三位三の三  
 △女子優勝一の十、準優勝二の十六、三位三の三  
 △バドミントン  
 △男子優勝三の二、準優勝一の十五、三位三の一  
 △女子優勝一の十六、三位三の四  
 △水泳  
 △男子優勝三の一、準優勝二の十七、三位二の八  
 △女子優勝一の十一、準優勝二の八、三位二の九

## 松永元文相(通産大臣)が来校

### 校長先生と旧交温める



来校した松永元文相(左)

現在、海部内閣の通産大臣で、前に文部大臣をつとめられた松永光先生が、七月十三日来校して、昔から長いお付き合いの須賀校長先生と久しぶりに再会のと、本校を見学し、先生方にお話をしてくださいました。

松永通産大臣は昭和三十三年から三十四年にかけて文部大臣だった松永東先生のご子息です。お父様の東先生が文部大臣になられた時、政務秘書官としてお父様と文部省入りしました。当時、文部省に勤務しておられた須賀校長先生は、文部省から出る正規の事務秘書官に選ばれ、松永先生と机を並べて文部大臣の東先生におつかえした仲でした。須賀校長先生はその後、須賀学園にもどり、学校経営にあたることになりましたが、これまでずっとお父様の親交は続いておられます。松永先生は早稲田大学卒業後、司法試験に合格して検事、弁護士などをしておりましたが、お父様の跡を継ぎ、郷里の長崎県から政界入りしました。そして、その政治的手腕と力量が高く評価され、若くしてお父様と同じ文部大臣に就任、「親子二代の文部大臣」として話題を呼びました。

この日、本校を訪れた松永先生は須賀校長先生と堅い握手を交わし、懐かしそうにあれこれと思ひ出話に花を咲かせました。

また、校長先生から本校の教育方針や教育内容などの説明を聞かれ、校長先生のご案内で校内の施設や設備を見て回られました。そのあと職員室で本校の先生方に親しく次のように話されました。

「須賀校長先生は若きエリート文部官僚でした。私も文部省で大へんお世話になりました。そのころから須賀学園については、先生からお話をお聞きしておりました。こんど初めて学校をお訪ねし、見学させていただきました。機会を得ましたが、須賀校長先生を中心に先生方のご努力で、すばらしい教育成果を上げておられるのを拝見し、大へん感動いたしました。

生徒の個性を生かし、時代を先どりした独自の教育ができるのは、私学ならではのことで、私も子どもを私学にかよわせています。これも私学の時代です。及ばずながら私も私学振興のために尽力いたすつもりですので、皆さんもぜひがんばって、さらに充実した学園にしてください。」

## 新校舎建設急ピッチ 4階建て、来春に完成



毎年施設設備の充実をはかっている本校では、いま二号館西側の元自転車置き場と新トイレの跡地に鉄筋コンクリート造り、四階建ての新校舎建設工事が進められています。

去る八月八日、地鎮祭が行われたこの新校舎は、普通教室、分割教室各四室の合計八室、延べ床面積八三七平方メートル、外装は吹付けタイル、一部タイル張りです。完成予定は来年三月末日で、新学期から使用できます。

新校舎の地鎮祭でクワ入れをする須賀校長先生

## 生活教養科が 老人看護実習

高齢化社会への対応として、モデルを使い老人看護の実習が最初に、宇都宮市福祉課長の小関忍先生から「家庭看護と老人の介護」についてのお話を聞き、同市保健指導係主査の高橋良子先生の指導で、生活教養科の三年生がモデルにな



の実習がさきごろ須賀栄子記念講堂小ホールで催されました。写真これは生活教養科が初めて行ったもので、大へん好評だったため、これからも続けていきたいと思っています。

## 敬老の日に プレゼント

ことしも敬老の日には生徒会から、職員生徒のうちで七十歳以上の同居しているお年寄りに恒例のプレゼントが贈られ、大へん喜ばれました。

今年の該当者は高校六百五十人、中学四十四人の合計六百九十四人で、最高齢者は三十四組大谷奈穂子さん(九十五歳)でした。おめでとございます。

プレゼントは、男女それぞれに美しい塗りのお箸と箸箱セットです。

## 運動会は10月11日に

ことしの運動会は十月十一日(水曜日)と決まりました。会場は前回(昭和六十二年)と同じ県総合運動公園補助競技場です。今回は開会式の入場行進なども得点の対象となるため、各クラスとも熱心に練習を続けています。当日の熱戦をご期待ください。

## 編集後記

「若鮎」14号をお届けいたします。今回はことし初めての試みとして行われた高校入試説明会の折の授業参観にかかわる各科授業内容の成果発表に重点をおいて編集しました。

編集委員一同、心をこめて作った作品です。ぜひ一人でも多くの方にお読みいただき、ご感想をお聞かせください。

(編集委員長・和田光代)